

セルフランサンプル調製法

・ 酵素反応には、Applied Biosystems 社の BigDye Terminator v3.1/1.1 Cycle Sequencing Kit をご使用下さい。

- 1) 酵素反応後の精製・乾燥済みサンプルに、Hi-Di Formamide (ABI: P.N.4311320) を 20 μ l 加えて溶かします (注1)。
- 2) 95°C で 2 分加熱後、氷中で 5 分急冷します。
- 3) 2) のサンプル溶液を当方指定の 96 ウェルプレートに 10 μ l ずつ入れてください。入れる順番は、A1→H1 の方向へお願いします (下図参照)。



行/列	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
A	サンプル 1	サンプル 9	・									
B	サンプル 2	サンプル 10	・									
C	サンプル 3	サンプル 11	・									
D	サンプル 4	サンプル 12										
E	サンプル 5	サンプル 13										
F	サンプル 6	サンプル 14										
G	サンプル 7	サンプル 15										
H	サンプル 8	サンプル 16										

- 4) 再泳動に備えて、残りのサンプル溶液は-20°Cで保管してください。
- 5) プレートはセプタでカバーし、氷冷して、センターの 3 階、研究室 3 までお持ち下さい (注2)。

●消耗品

- ・ Hi-Di Formamide (ABI: 4311320)
- ・ 96 ウェルプレート (ABI: N8010560)
- ・ セプタ (ABI: 4315933)

●その他

(注1) Hi-Di Formamide は、一回で使い切る量をチューブに小分けして-20°Cで凍結保存してください。何度も凍結融解を繰り返すと蟻酸が生じ、泳動条件が悪化します。

(注2) Hi-Di Formamide に溶解したサンプルを保存する場合には、-20°Cでお願いします。保存後 1 ヶ月程度は解析可能なピークが得られます。

*XTerminator で精製する場合には、ご相談ください。